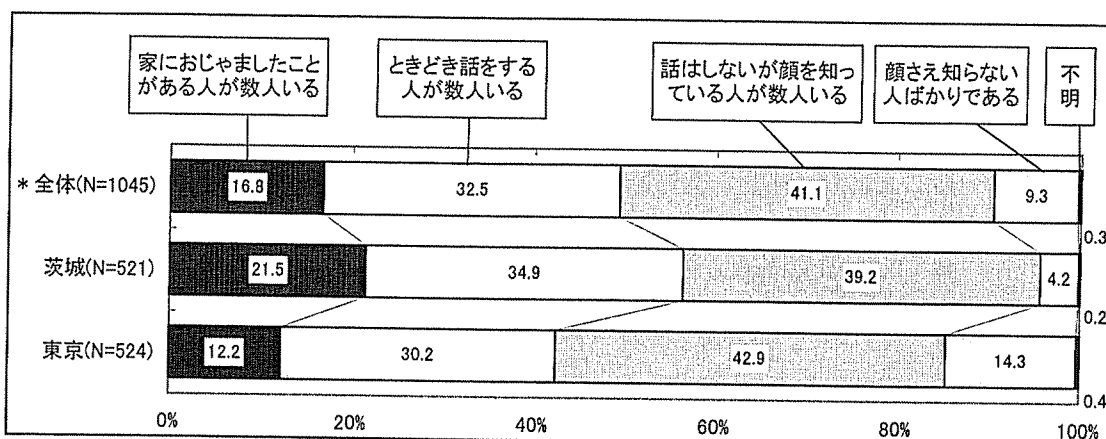


(2) 近隣関係

①近隣住民とのコミュニケーション

(図表 54) 近隣住民とのコミュニケーション



(図表 55) 近隣住民とのコミュニケーション別地域安全活動に対する認知度

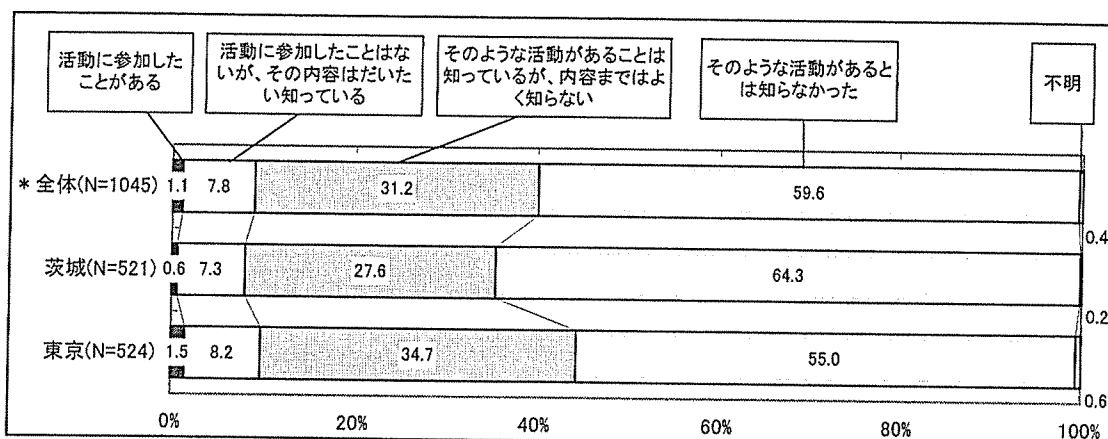
	参加経験	内容熟知	内容不知	活動不知	不明	総計
訪問	2.3%	14.2%	29.5%	54.0%	0%	100%
会話	0.9%	10.3%	39.7%	48.8%	0.3%	100%
顔既知	0.7%	4.9%	27.7%	66.7%	0%	100%
顔不知	1.0%	0%	20.6%	78.4%	0%	100%
不明	0%	0%	0%	0%	0%	100%
総計	1.1%	7.8%	31.2%	59.6%	0.4%	100%

「話さないが顔を知っている人が数人いる」が最も多く、高校生と地域社会との関係が密ではないことが分かる。しかも、「家におじゃましたことがある人が数人いる」と答えた高校生の割合が、茨城が東京よりも10ポイント近く高く、したがって、都市化とともに、高校生と地域社会との関係が一層希薄化していくことが予想できる。

地域住民による犯罪防止活動との関係については、当然ながら、地域社会との関係が深いほど、それへの参加度やその認知度が高くなることが分かった。

②地域安全活動に対する認知度

(図表 56) 地域安全活動に対する認知度



(図表 57) 地域安全に対する認知度別パソコンによるインターネット利用の時間

	利用なし	～1 時間	～3 時間	～5 時間	5 時間～	不明	総計
参加経験	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	100.0%
内容熟知	65.4%	13.6%	11.1%	2.5%	0.0%	7.4%	100.0%
内容不知	71.8%	13.5%	7.1%	0.6%	0.0%	7.1%	100.0%
活動不知	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明	77.0%	9.3%	5.1%	0.5%	0.6%	7.4%	100.0%
総計	74.2%	11.0%	6.2%	0.8%	0.6%	7.3%	100.0%

地域住民による犯罪防止活動の内容を知らない高校生が9割に上ることが分かった。

パソコンによるインターネット利用の時間について、「活動に参加したことはないが、その内容はだいたい知っている」と答えた高校生と「そのような活動があるとは知らなかった」と答えた高校生を比較すると、後者の全員が「全くインターネットを利用しない日の方が多い」と答えていることが特徴的である。したがって、地域に関心を持たない高校生は、インターネットにも関心を示さないとされる。